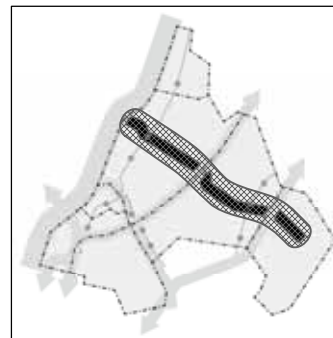


(4) 穂谷川景観軸

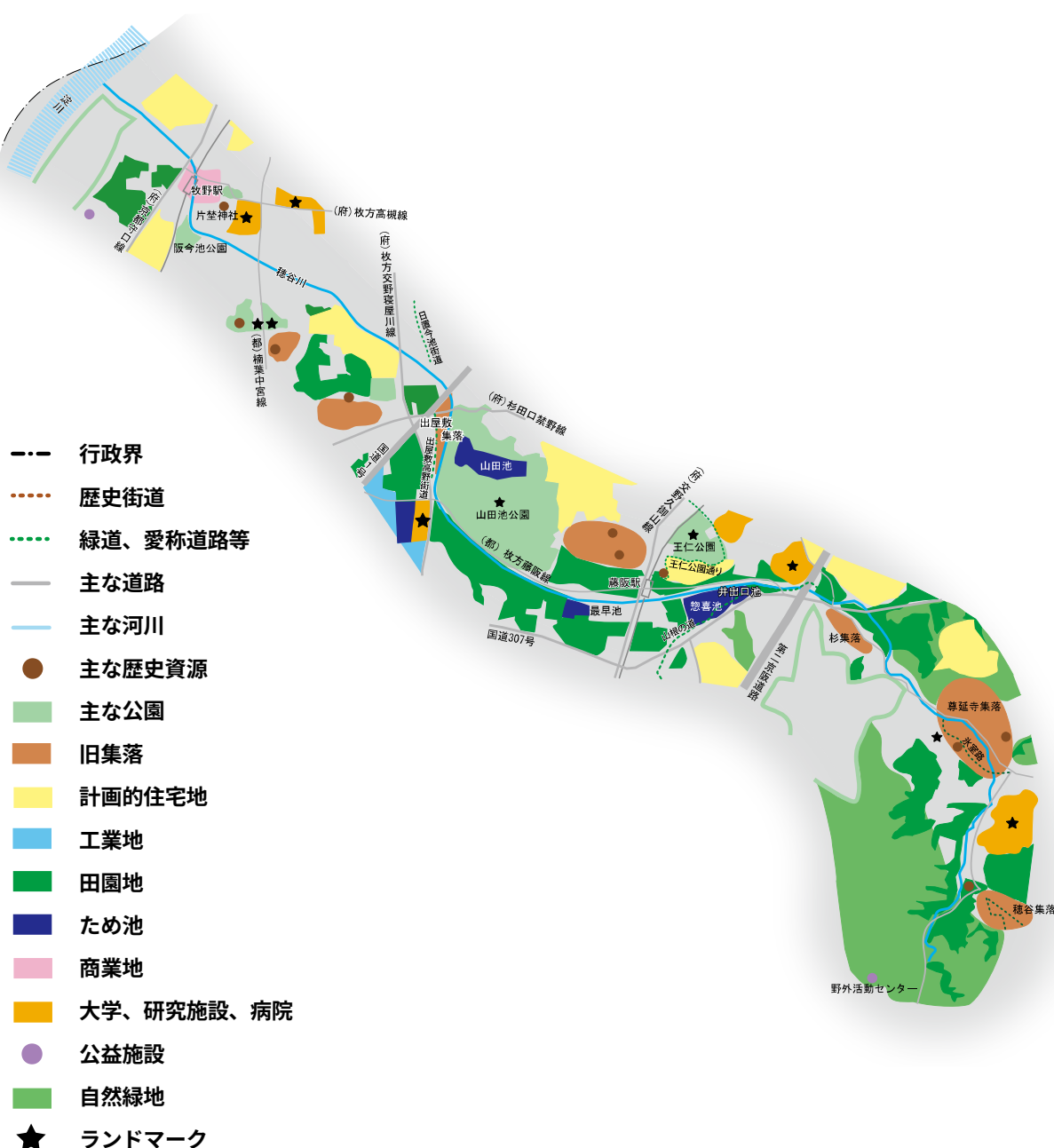
○地域景観の課題と方向性

穂谷川は、穂谷集落の奥地に源流を持ち、市域を流れる河川の中では最も流路が長く、生駒の山なみと淀川を結ぶ水と緑の軸を形成しています。上流から中流域にかけての沿川には田園景観が広がっており、田池公園や王仁公園など豊かな緑に囲まれたレクリエーション施設が集中しており、藤阪駅や関西外国語大学なども隣接しています。

今後は、川とのつながりを深めたまちづくりをめざすとともに、自然とのふれあいを楽しめるレクリエーション拠点として整備していきます。



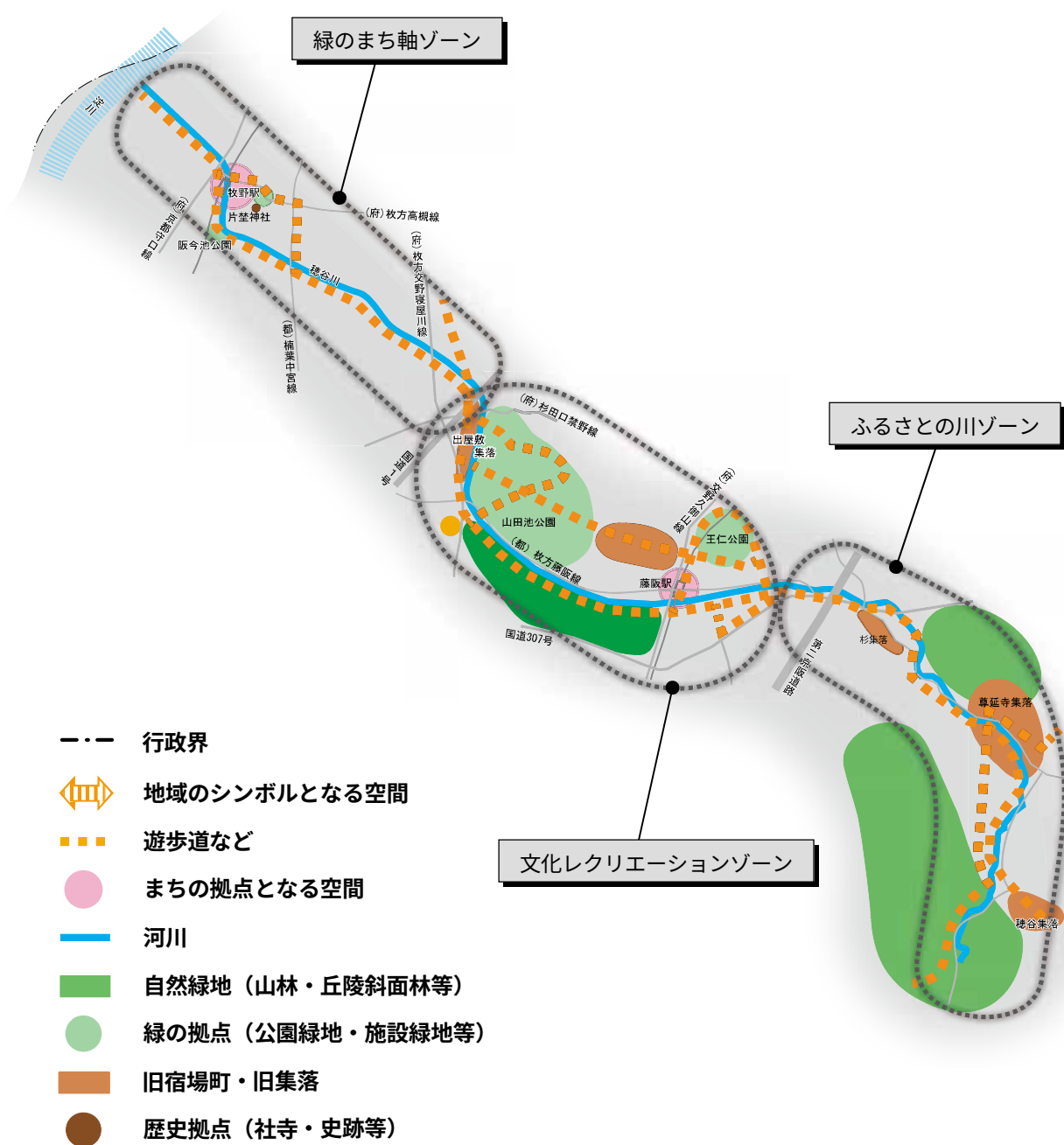
穂谷川景観軸 区域現況図



景観形成の方針

1. 穂谷川を軸とした自然・歴史文化・スポーツレクリエーション空間をつなぐネットワークの形成
2. 生物が生息する空間(ビオトープ)の保全と創造

穂谷川景観軸 景観形成概念図



○ 景観形成の方向

緑のまち軸ゾーン

日常の散歩や駅からの道沿いで自然とふれあえる、心安らぐ生活の軸をつくりだします。

「季節を感じる川づくり」

- ・沿川の緑化を推進するとともに、リバースポット(ポケットパーク・橋詰広場など)の整備を図ります。
- ・自然を感じさせる護岸の整備を活かすとともに、きれいな水を取り戻します。
- ・市街地における昆虫や小動物の生息地として、小倉池の活用を考えます。

「川と一体となったまちづくり」

- ・牧野駅周辺の護岸の緑化や親水化等、整備を活かした景観形成を図ります。
- ・商店街や住宅地と川とのつながりを高めるために、牧野駅前・片埜神社・阪今池公園等の拠点と川を結ぶ、まちの周遊ループを活かします。



文化レクリエーションゾーン

沿川に展開する大規模公園・スポーツ施設・歴史的まちなみや拠点を結びつけ、自然に囲まれた環境の中で楽しく遊べる、枚方市のレクリエーションのゾーンをつくりだします。

「2つの公園を中心としたレクリエーションゾーンの形成」

- ・ゾーンの核をなす山田池公園、王仁公園をはじめ、周囲の拠点施設や歴史的まちなみをつなぐ歩行者ルートを整備し、ネットワークを図ります。
- ・文化レクリエーション施設の充実を図るとともに、藤阪や出屋敷集落の歴史的景観資源を保全・活用します。
- ・藤阪駅周辺では、ゾーンの玄関口にふさわしい自然や文化、緑を活かした開発の誘導を図ります。

「自然とのふれあいを楽しめる環境づくり」

- ・河川の生態系に配慮し、自然を感じることでできる環境を整えます。
- ・大小のため池の水景を保全し、散策路などの水辺などに親しめるような周辺整備を図ります。



【関連プロジェクト】

淀川水系淀川左岸ブロック河川整備計画

ふるさとの川ゾーン

山間地の集落の持つ落ち着いたたたずまいを感じさせながら、川に沿って生駒の山懐へと人を導く、里山探訪や自然散策のできる道をつくります。

「ふるさとの川づくり」

- ・穂谷や尊延寺、杉など、山間地集落の落ち着いたたたずまいを継承します。
- ・水源林や源流の湧水、ホタルやサワガニなどが生息できる生態環境を守ります。
- ・穂谷の棚田など、良好な田園風景の保全を図ります。
- ・動植物の生息環境に配慮した河川空間の創出を図ります。

「生駒の山々と親しむ環境整備」

- ・自然とのふれあいの拠点である野外活動センターへ至る自然散策の歩行者ルートを整備します。
- ・市道穂谷狭戸線において川や緑と調和した整備を図ります。

【関連プロジェクト】

関西文化学術研究都市サード・ステージ・プラン
淀川水系淀川左岸ブロック河川整備計画



